

【令和5年度】表彰

<環境活動表彰>

●みたか子どもの食と未来を守る会

子育て世代の女性が集まり、子どもにとって安全な食品を調べるうちに、食と環境が関係していることを知り、未来の子どもたちへ安全な食・空気・土・水を残すために循環型ライフスタイルを社会に広げたいという思いから、みたか子どもの食と未来を守る会を発足した。その活動として、令和5年10月に井の頭恩賜公園西園で「オーガニックフェスタin井の頭公園2023」を開催した。オーガニックフェスタでは、楽しみながら環境について学べるよう、自然に還る材料を用いたエコ石鹸作成やエコバッグの作成、自転車で発電体験といったワークショップを取り入れた。講演会では、大学の馬術部から馬糞をもらい、堆肥を作成しているエコ堆肥の話やどんぐりを植えて緑を増やすどんぐりプロジェクト、化学物質による環境への影響などを話してくれる講師を招いた。パネル展示では、マイクロプラスチックが環境に与える影響を周知している「ブラモンやっつけ隊」の活動紹介も行った。また、会場で使用しているマイクは太陽光発電で給電し、ゴミを出さない取り組みとして、参加者にはマイ食器やマイボトルの持参も呼びかけた。

他にも、団体メンバーが、三鷹・吉祥寺周辺の環境に配慮した製品等を扱うお店に直接足を運び、その情報を記載したオーガニック&ナチュラルマップを作成し、配付した。

約2,000人の方々が来場され、勉強になった等の反響をいただき、Webメディアである「Meetむさしの」の取材も受け、多くの方々に周知することができた。

今後は、オーガニックフェスタを年1回は開催し、他にもワークショップを行うことや、令和6年3月には、環境と健康に関する映画の上映会も予定している。

<環境活動奨励表彰>

●晃華学園中学校高等学校 SDGsポップアップストア

晃華学園中学校高等学校の生徒が自ら立ち上げた団体で、企業、福祉事業所などと連携し、環境に配慮した製品やフェアトレード製品の販売及びSDGsに関係した活動の啓発発表を行っている。SDGsポップアップストアは、高校生5名が活動しており、今までに文化祭や2023東北絆まつりで出店し、農薬を使用していないオーガニックコットンのハンドタオルや点字の新聞を再利用した封筒を販売した。無農薬の製品は製造過程で虫も殺さず、土壌も化学物質で汚れることもない。また、点字の新聞はそのまま廃棄されることが多い中、再利用することで無駄なゴミも減らし、視覚障がい者の方々がハンドメイドで作成しているため、福祉活動についても知ってもらえることができる。

販売活動では、このような環境に配慮した製品は価格が高く、売ることや製品の良さを理解してもらうことが難しかったが、地球の未来について考える重要性や、世代別に説明の仕方を変え、商品の魅力を伝える工夫を行った。結果として、約500人に環境に配慮した製品を知ってもらうことができ、3万円の利益を得た。得られた利益は、フェアトレードコーヒーの仕入れなど、次の活動に向けた準備の資金に充てた。

これらの活動は、全国ユース環境活動発表大会で評価され、優秀賞を受賞した。

このような高校生が行っているSDGsに関する活動は、認知度が低いため、今後はより外部のイベント等に出店し、活動する高校生の増加やイベントの規模を拡大させ、より多くの人に環境に配慮した製品を伝えたいと考えている。